

○山本 美智子¹

¹昭和薬大

Academic Detailing (以下、AD) とは、文字通り学術的な情報をわかりやすく説明することである。医療における AD は、医療従事者、特に処方医師に対する医薬品の適正な処方に向けた教育的介入方法の一つとして捉えられており、公的な支援による対外的活動を言う。

医療の高度化に伴い患者の安全性の問題、医療費の増加などが懸念される状況下、医療現場での医薬品の適正な使用に資するため、医薬品や薬物治療に関する適正な情報を提供する必要がある。しかし、個々人でエビデンスに基づいた情報を網羅的かつ系統的に整理・評価し臨床応用するには多くの労力や時間を要し困難を極める。コマーシャルベースの情報や臨床経験に頼ってでは、不適正な薬物治療につながりかねない。そのための取り組みの一つとして、AD の中立的な活動が注目されている。

AD プログラムでは、エビデンスに基づいた、費用対効果を考慮した薬剤の選択ができるような処方改善のための臨床情報提供システムを整備し、AD を行うための **Detailer** を育成している。**Detailer** は臨床薬剤師が担うことが多い。これを行う関係者は製薬企業と金銭的関係をもたない中立的な立場であることが重要で、欧米・豪各国では公的な資金が投入されている。国内では、社会的要請に応え臨床薬学教育の充実が図られている中、薬剤師は、今後、**Detailer** の役割を担うべきであると考えられる。AD 活動の重要性が国内でも認識され、医療の質の向上につながることを期待したい。